

農道の補修

昨年の保全会通信で「追加を入れなければいけないかも」など書いたせいか、大変な事態が起こってしまいました。

あれだけ入れた補修剤が、ほとんど残っていないのです。一体、どこへ飛んで行ったのでしょうか。頭の中は？(クエスチョンマーク)が飛び交っています。



↑これが↓こうなった



雨上がりで見えにくいのですが、道路中央から右へ三角形のへこみができています。

ともあれ、直さねばということで、補修剤をごっそりぶち込みました。



水門の点検・整備

今年の3月は、結構寒いのです。水門の側にも残雪が。



誰ですか？ 「こんな寒い日には水なんて触りたくない。」などとのたまうのは。

子供は風の子、寒くても平気？？？ 残念、皆さん大きな子供でした。

通水試験の結果は上々、「さあ、いつ水が来てもいいぞ！」と言いたいのですが、現実には「田んぼの準備がまだでーす。」との合唱です。

懸案事項の門扉の塗装は……(書くな！書いてはいかん。書けば左ページのように現実になってしまうぞ！) はっ！しまった！もう、書いてしまったじゃないか。やむを得ない。皆さん、塗装の件は忘れてください。

という具合に逃げられれば良いのですが。残念ながら、来年あたりには塗装やり直しになりそうです。

↓通水試験中



次回は令和6年第1号です。

農道の補修

以前、アスファルト補修剤を使って補修した横の部分が剥がれてしまいました。(よりによって同じとことは!)

前回の補修部分は、一部剥がれていましたがへこんで残っています。どうやら圧縮が足りなかった用です。



補修工事は、前回同様圧迫硬化型のアスファルト補修剤を使用した簡易補修です。少々見積が甘かったようで、もう1袋ほど入れた方が良かったみたいです。(合掌)

来年にでも、様子を見て、追加を入れるか決定となるでしょう。

水門の点検・整備

今年も水門整備の季節がやってきました。毎年、この作業が来ると「ああ、春が来た・・・?、この書き出し、去年も書いたような? ああ、いかん! 脳軟化症が! ゴホン

さて、脳はともかく、作業開始です。



今年もたくさんの方が参加して下さいました。実際、これだけ人数がいると、水門位置では仕事にあふれる人が半分くらい出てきます。(作業スペースの関係で、同時に取り付けるのは5~6人なのです。)

必然的に人余り状態になるのですが、あふれた人たちは、この後地獄(?)を観ることに。

といっても、単に「歩け!歩け!」なのですけどね。(車で行けない水路分岐点の点検作業に割り当てられます。)

「働かざる者食うべからず」ですね。行ってこないと参加賞(?)の飲料(ペットボトル)が当たりません。



気がかりだった門扉の塗装面は、昨年とあまり変わっておらず、もう1~2年は大丈夫かな、と言ったところです。

長寿命化について

令和5年度より5年間の募集があり、応募しましたが、結果待ちと言ったところです。受ければいいのですが。

次回は令和5年第1号です。

点検・機能診断

4月、新年度の始まりです。
昨年、一昨年と全く同じ書き出しですね。
マンネリです。何か別の言い回しを考えねば
いけませんね。
文章はともかく、やることも毎年同じです。
但し、状態は毎年違っているのです、それだけ
が救いです。



今年は、以前補修を行った農道のアスファ
ルトが、補修部分の横の亀裂部が剥離してし
まいました。(昨年から兆候はあったのです
が、まさか一年で剥がれてしまうとは！)
補修は、秋作業終了後に行う予定です。

泥上げ

点検・機能診断が終了したら、翌日はもう
泥上げです。参加メンバーを覗いてふと思
ったのですが、農家の人数少なくてね？ 後で
確認したら、非農家の方が多かった。ホワイ
トカラーのかた、年に一度の力仕事ご苦労様
です。さぞお疲れになったことでしょう。



今年は、中央の排水路と稲荷方向の排水路
の番なので、延長は長いものの昨年のような
泥の量ではないため比較的楽です。それでも
しんどいことには変わりないですけどね。(歳
のせいかも)

何にせよ、雨が降らなかったのは良かった。
雨のなか、合羽を着て泥上げなんて最悪です
よね。

草刈り

集落共同の草刈り作業について書こうと思
っていたのですが、今年は天候の関係で2回
延期になっており、広報誌発行日時点でまだ
行われていません。

よって、普段書いていない農家による草刈
りについて少し書いてみようと思います。



農家による草刈りといっても、何か特別な
事をしているわけではありません。農作業の
一環として普段からしている草刈りを、事業
に合わせて組み込んだだけです。(6月、7月
のみ)但し、最低でも月に1回以上刈ること
と、草刈りした日を付けておくことをお願い
しています。(回数とはともかく、記録の方は
あまり守られていませんが)

作業については農家の都合に合わせていた
だくけれども、作業場所(田圃)は保全会にて
割り当てと取りまとめを行っているという形
で事業に組み込んでいます。

次回(4年度第2号)は3月に発行予定です。

点検・機能診断

4月、新年度の始まりです。

昨年まったく同じ書き出しですね。さて、昨年、「点検と機能診断の違い」について記載したところ、参加メンバーからひと言、「そんなもん気にするな！壊れていなきゃすべてOK！」現場ではこんなもんですね。



今年は土曜日だったこともあり、参加者多数で大盛況です。(多分、事業開始以来最多人数かも)おかげで診断記録の担当者を誰にするかで…、結局、代表とすることでケリがつかしました。

泥上げ

泥上げは重労働です。(事実です)しかも、今年は、3年に一度の「魔のジグザグ水路」(注 命名=編集者)とあっては、例年の倍は疲れるというもの。



この排水路、終端は京坪川に落水しているのですが、設計か工事のどちらが原因かは不明だが、京坪川堤防下の土管入口側の水路が入口下部より20cmぐらい下がっているとい

うとんでもない場所。おかげで泥の量も…言わずともわかるほど。

やっとこさ終わった頃はお昼でした。(疲れました。ホント)

沈砂池(泥溜め)の泥上げ

午前中しんどかったのに午後からもこれですよ。元々が泥を溜めるための設備ですので、最低でも深さの分の泥が有ります。(それ以上は流れていってしまう訳ですが。)

これって容量はどうやって決めてるのですかね？元の水路に有ったものを参考にしてるとか？(ちなみに、編集者は旧水路の泥溜めにプラモを浮かべて遊びました。)



現状のサイズでは明らかに容量不足のような？(夏頃には一杯になっています。)

この事を話題にしたら、「おまえはこれ以上泥をあげたいのか！」と白い目でのたまいました。(おっしゃる通りです。合掌)

午前中で懲りた人たちは、「エラいところから先にやっしまえ」と最優先で作業しています。といっても、サイズの関係から中に入れるのは3~4人が限度で、それがまた、作業をきつくしているのですが。(交代要員を置けば良いのですが、そうすると遊んでいると観られるのです。)

なかなか難しい問題ですね。

次回(3年度第2号)は3月に発行予定です。

点検・機能診断

4月、新年度の始まりです。
毎年、年度初めの作業は点検と機能診断なのですが、今回、初めて参加したメンバーからこんな疑問が出てきました。
「点検と機能診断で、どこが違うの？」
ハテ？どう違うのだけ。確か、前に聞いた覚えがあるのだけれど。とっさには出てきません。
確か、現状を確認するのが「点検」であり、機能不全があるかどうかを確認するのが「機能診断」だったような？
皆さんは、わかりますか？

泥上げ

今年も泥上げです。（農業やってる限り、泥上げからは逃げられませんね。）
でも、塚越では、非農家の人も泥上げ作業に参加します。何十年も前からそう決まっているのですが、当時の世代は、よく、決断したものだ、と、今更ながら感心せざるを得ません。



ともあれ、作業はつつがなく終了したのですが、昨年からの藻の発生がすごくなっており、無視できないレベルとなりつつあります。
誰か、いい対処法があったら教えて！

共同草刈り

7月19日、塚越集落共同草刈りです。



写真では見事に晴れ渡っていますが、ご存じのように今年の7月はほとんどない長雨続きで、やっと晴れた久しぶりの晴れ間でした。
今年は、雨のために草の生長が早く、例年なら1ヶ月間隔ぐらいでの草刈りなのに、2～3週間で伸びてしまう状態でした。（当然、草刈りもそれぐらいの間隔になるのですが、何せ雨続きで間隔はめちゃくちゃです。）
作業自体は、天候が良かったおかげではかどったのですが、なにしろ暑かった！

今年はやります長寿命化

昨年、工事を断念した長寿命化ですが、今年はやりますよ！
現在、例年工事をしていただいている施工会社様に概算予算を提示して、大体の工事延長を見積もっているのですが、約50mぐらいではないか、との返事を口頭でいただいております。
決定次第、皆様にお知らせしますので、よろしく願いいたします。

次回は3月に発行予定です。